



週報

Weekly Report

RI テーマ
ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

2013-2014 年度国際ロータリー会長 ロン・パートン

例会日 / 毎週月曜日 12:30 ~ 13:30

例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)

会長 / 野口泰則 幹事 / 今村浩昭 クラブ広報委員長 / 丸山浩之

www.kumamoto-southrc.org

第 17 回例会記録(通算第 2585 回)

平成 25 (2013) 年 12 月 9 日

斉唱 国家 君が代

ロータリーソング「それでこそロータリー」

来訪者紹介

済々黌高校水泳部部长 岩崎和彦様

国府高等学校教員 長野光洋様

花陵中学校教員 志水啓介様

会長報告(野口泰則君)

こんにちは。本日は熊本県水球協会から 3 名の先生方にご来訪いただきました。熊本南ロータリークラブでは、これからも引き続き青少年育成に注目し、新たな事業に取り組んで参りたいと思います。

先週は総会を開催いたしました。後藤博会員を会長ノミネーとして正式に承認いたしました。どうぞよろしくお願いたします。その後の家族会は皆様、楽しんでいただけましたでしょうか? 家族と共に会員同士、更に親睦を深める良き家族会でしたら幸いに思います。さて、私は二ヶ月に一回ほど東京へ向かい、経営コンサルタントのセミナーを受けております。その際、先ず最初に健康づくりの大切さをアドバイスいただきます。体力がなければ良い判断ができない。簡単な様でとても大切な事だと思います。そのようなことから先日、九重山を登って参りました。氷点下 10 度の気温のなか、両手両足は痺み感覚が無くなるような状態でしたが、頂上に辿り着いたときには青く大きな空の下、気持ちも晴れまして、これからも体力づくりに一層励む思いにも辿り着きました。

国際ロータリー第 2720 地区 **熊本南ロータリークラブ**
Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club



熊本南 RC 新世代奉仕委員会の事業として、水球大会支援が承認されています。

今日の例会

1. 今日の歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 会員卓話 星野誠之君

今月・来月の行事

- 1/8 熊本市域 RC 新春合同例会 @ホテル日航熊本
- 1/28 第3回 熊本市域 RC 会長・幹事会 @火の国ハイツ

出席報告(永井富士雄君)			
会員数	出席数	出席率	前々回修正出席率
60名	41名	74.55%	83.33%
出席規定適用免除者 6名		欠席記録免除者 2名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

幹事報告(今村浩昭君)

1. ガバナー事務所より「2014年国際ロータリー年次大会」ツアーのご案内が届いております。参加希望の方は事務局 東までお知らせください。
2. ガバナー事務所より「第4回日台ロータリー親善会議」のご案内が届いております。参加希望の方は事務局 東までお知らせください。

例会変更のお知らせ

○05福祉RC～親睦会のため時間変更

[日 程] 12月17日(火)

[変更前] 12:30～

[変更後] 18:00～

○東RC～親睦会のため時間変更

[日 程] 12月17日(火)

[変更前] 12:30～

[変更後] 18:00～

○水前寺公園RC～親睦会のため時間変更

[日 程] 12月18日(水)

[変更前] 12:30～

[変更後] 18:30～

○東南RC～親睦会のため時間変更

[日 程] 12月18日(水)

[変更前] 12:30～

[変更後] 18:30～

○平成RC～親睦会のため時間変更

[日 程] 12月18日(水)

[変更前] 12:30～

[変更後] 19:00～

○05福祉RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月24日(火)

○西RC～親睦会のため時間変更

[日 程] 12月24日(火)

[変更前] 12:30～

[変更後] 18:30～

○平成RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月25日(水)

○東南RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月25日(水)

○菊南RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月26日(木)

○北RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月26日(木)

○05福祉RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月31日(火)

○中央RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月27日(金)

○城東RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月30日(月)

○グリーンRC～定款に基づき休会

[日 程] 12月30日(月)

○東RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月31日(火)

○西RC～定款に基づき休会

[日 程] 12月31日(火)

○江南RC～慣例に基づき休会

[日 程] 1月1日(水)

○西南RC～慣例に基づき休会

[日 程] 1月2日(木)

○北RC～慣例に基づき休会

[日 程] 1月2日(木)

○熊本RC～慣例に基づき休会

[日 程] 1月3日(金)

○中央RC～慣例に基づき休会

[日 程] 1月3日(金)

○城東RC～合同例会のため日程変更

[変更前] 1月6日(月)12:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○グリーンRC～合同例会のため日程変更

[変更前] 1月6日(月)12:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○東RC～合同例会のため日程変更

[変更前] 1月7日(火)12:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○西RC～合同例会のため日程変更

[変更前] 1月7日(火)12:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○東南RC～合同例会のため場所変更

[日 程] 1月8日(水)

[場 所] ホテル日航熊本

○江南RC～合同例会のため場所変更

[日 程] 1月8日(水)

[場 所] ホテル日航熊本

○江南RC～合同例会のため場所変更

[日 程] 1月8日(水)

[場 所] ホテル日航熊本

○平成RC～合同例会のため時間場所変更

[変更前] 1月8日(水)18:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○西南RC～合同例会のため日程場所変更

[変更前] 1月9日(木)18:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○北RC～合同例会のため日程場所変更

[変更前] 1月9日(木)12:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○中央 RC～合同例会のため日程場所変更

[変更前] 1月10日(金)18:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○熊本 RC～合同例会のため日程場所変更

[変更前] 1月10日(金)18:30～

[変更後] 1月8日(水)12:30～

[場 所] ホテル日航熊本

○平成RC～親睦会のため時間変更

[日 程] 1月29日(水)

[変更前] 12:30～

[変更後] 未定

定例理事会報告

- ・北口 誠様の入会について→12/16(月)例会より出席いただくことで承認されました。
- ・1/8新春合同例会の登録料7,000円について→例会費3,000円を控除し、4,000円で全員登録とすることが承認されました。

2014-13年度臨時理事会報告

- ・SAAの選出について→田邊信一会員を推選し、全員一致にて承認されました。

委員会報告

●親睦活動委員会(現王園敏伸君)

[誕生祝]

[結婚祝]

三角雄介君	12. 7	藤木正幸君	12. 2
井上雄一朗君	12. 11	鈴木勝志君	12. 5
淵田俊郎君	12. 22	工藤青史君	12. 5
吉永彰一君	12. 25		



[誕生祝]



[結婚祝]

●職業奉仕委員会(井上雅文君)

本日の職場訪問について、14:30現地集合となっております。駐車場のほうは事前にご案内した通りとなります。よろしくお願い申し上げます。

●スマイルボックス(三角雄介君)

○野口泰則君・今村浩昭君・堀川貴史君

本日の卓話の岩崎先生・長野先生・志水先生のご来訪を心より歓迎いたします。水球の魅力を思う存分お話し下さい。また、先週の家族会は楽しんでいただけましたでしょうか。全会員の皆様と、ご家族の皆様感謝いたします。

○後藤 博君・原 裕一君・渡邊秀章君

本日はお忙しい中、県水球協会水球委員長であり済々黌高校水球部部長の岩崎先生はじめ、IACでもお世話になっております国府高校の長野先生、国際審判員でありジュニアクラブの監督もされておられる志水先生のご来訪を心より歓迎しスマイルします。

○坂本研一君

親睦委員会メインイベントの家族会が無事終了しました。委員長所感として、反省点は多々ありましたが全体的に見て、大成功と言わせてください。皆様のご協力と温かい拍手に心より感謝しスマイルします。高宮先輩、本日のゴルフレッスン会楽しみにしております。

○古財良一君・井上雅文君・三角雄介君

今日の職場訪問、楽しみにしています。ゴルフレッスンが楽しみです。

○高宮 宏君

本日の職場訪問、ご期待に添うかわかりませんが、よろしくお願いたします。雨が降り寒くなっていますので、風邪をひかないよう気を付けてください。

○寿崎 肇君

12月7日に嫁の7回忌のため孫・曾孫が久しぶりに集まり、にぎやかな1日となりました。この年まで元気に曾孫の顔を見、一緒に遊ぶことができたことに感謝してスマイルします。

○岩野衆次君

一年間お世話になりました。社員割引クーポン券が手に入りました。ドコモショップの店頭価格よりさらに安くなります。新規申込み・スマホへのお取替えをご検討中の方はお声かけください。

○馬場大介君 VI

繁忙期に入りなかなか出席できずご迷惑をお掛けしていません。お陰さまで玉名油槽所も一周年を迎えることができました。先週の結婚祝いも合せてスマイルします。

●外部卓話(渡邊秀章君)

「水球の現状」



岩崎和彦様(済々黌高校水球部部長)



長野光洋様（国府高等学校教員）



志水啓介様（花陵中学校教員）

1. 水球の概要

水球とは7名で構成された2つのチームが、プールに作られたコート内でゴールにボールを入れあい点数を競う競技である。接触プレーが許されており、ボールを保持している相手に対しては、殴る・蹴る等の暴力行為を除いて、アタックがゆるされている。また、陸上に比べ水中では身体の動きが緩慢となる関係で、プレーヤーのポジション取りが戦況に大きく関わる事になる。そのため、水中での駆け引きが多く「水中の格闘技」と言われている。正式なルールの下では、水球のコートは縦30m横20m、水深は2.0m以上のプールからなる。GKを除くフィールドプレーヤーはボールを片手で扱う。（両手で触れる事が許されない）19世紀後半イギリスで考案され、夏季オリンピックの種目となっている。プールで行うハンドボールのようなものと言える。著名なことでは、過去に日体大水球部が376連勝（連勝記録No.1-ギネス登録スポーツ無敗記録一覧参照）している。

2. 水球の歴史

(1) 水球の発祥

水球発祥国はイギリス。19世紀半ばにイングランド各地で公衆浴場（プール）が開設されると、そこを拠点とした水泳クラブがいくつも結成される。1860年以降、各クラブでは見世物として水上イベントが盛んに行われ、その中で当時の駿馬の名前をつけた木製の頭付き樽にまたがってレースを行う「ウォーター・ダービー」などが開催され人気を博した。フットボールも時として水中で行われたが、水中では足を使ってボールのコントロールが困難であるため、対峙する2チームは決められたポイント（主にボート）までボールをいかに運ぶかを競い合った。ボールを運ぶにあたっては、あらゆる手段が用いられ、水中での激しいボールの奪い合いが繰り広げられたようである。そしてこの水中で行うフットボールに関して、イングランドのMetropolitan Swimming Association（メトロポリタン水泳協会）が、1870年にFootball in the water（水中フットボール）の名称でルールを制定したのが競技としての水球の起源とされる。その後1888年、Amateur Swimming Association（アマチュア水泳連盟）によって、ほぼ現行と同様の水球競技規則が策定され、イングランドおよびスコットランドにおいて水球

が盛んに行われるようになった。さらに1892年には英国における統一ルールが制定され、イングランド対スコットランドの国際試合が行われるなど、競技としての水球がさらに洗練されていく。「水球（Water Polo）」と呼ぶようになった経緯についての明確な記述はないが、競技に用いられたインド製のゴムボールをヒンズー語でプル（Pulu）と呼び、それが訛ってWater Poloになったとする説もある。

(2) 日本への普及

記録に残る日本で最も古い水球の試合は、1907（明治40）年8月5日に第二回関東連合游泳大会において東京高等師範学校（現・筑波大学）と第一高等学校（現・東京大学）が館山（千葉県）で行ったものとされる（東京高等師範学校校友会誌、第14号、p.116、1907）。1915（大正4）年には慶應義塾水泳部内にウォーター・ポロ・チームが結成され、同年8月15日には、神奈川県葉山海岸の会場に特設されたフィールドで横浜外人クラブと試合を行った。結果は、9対0の大差で慶應義塾が負けたが、これが日本国内で記録に残っている最初の国際試合となった。1925（大正14）年には、大日本水上競技連盟の主催で10月10～12日の3日間に渡り「全日本選手権水上競技会」が開催され、ウォーターポロ競技が公式競技として初めて実施された。

(3) 熊本での水球

S21年夏に、済々黌中学・熊本中学に水球部が創設された記録がある。S21年10月に五高（後の熊大）プールで「熊本県水球選手権大会」が開催されており、その大会に済々黌A・B、熊中、竜水会、熊本水協、5チームが参加している。S22年には、宝塚で行われた、第15回日本中学選手権水上競技大会に、済々黌・熊本中学が参加し、熊中は準決勝進出、済々黌は決勝で敗れ二位となっている。この後済々黌は現在まで、途切れることなく部活動が続いているが、熊中は数年後には自然消滅をし、S41年に再結成されるまで、水球の活動は途絶えていた。S20年代から40年代にかけて、済々黌水球部の全国大会での活躍はめざましいものがあった。高校選手権（インターハイ）では、S26年・28年・35年・36年・42年に優勝。出場できなかった年もS27年・S43年の2回だけであった。水球競技の実施校は少なくとも九州のレベルは高く、九州からの出場校はほとんどベスト4に残るといった状況の中での事である。S29年第9回大会（奈良県開催）から始まった国体では、S32年・S43年に優勝。その後S52年まで連続出場。優勝できないまでも、インターハイ・国体ではほとんどの年でベスト4に進出している。しかし、S50年のインターハイ6位、国体4位を最後に、以降熊本県の水球は低迷期を迎える。以降、全国大会出場は、インターハイがS52年・53年・H4年（宮崎開催：初戦勝利）、H13年（熊本開催：学園大付属高校）。国体はいずれも選抜チームで臨み、S51年・52年・54年（宮崎開催）H11年（熊本開催：3位）H12年（富山開催：6位）、及びH13年の春季J.O（ジュニアオリンピック）の出場にとどまっている。